

新・躍進宣言

山口しんじゅ



笠間を創る。

人とモノの交流支援で豊かな街づくりを！

時代が求めているもの、社会に機能するモノ、

人と人とのふれあいを大切にし、

居心地がよくて暮らしやすい笠間。

「一生住みたい」

そういった街づくり。

山口伸樹

「一生住みたい笠間」

少子高齢化 人口減少社会への挑戦

人づくり

街づくり

モノづくり

「3つの柱」で笠間の街づくりを進めます。

未来を担う 子ども達を支援します

- 就学前の多様な教育・保育ニーズに対応するため、**幼保一体型の認定こども園を整備**します。
- 子どもの健康と子育て支援のため、病後児保育を拡大し、新たに**病児保育**を始めます。
- 児童の健全育成のため、すべての**放課後児童クラブ**を6年生まで拡大します。
- チームティーチングによる授業を充実させ、児童生徒の**学力向上**に取り組みます。
- 英語教育**を充実させるため、寺子屋イングリッシュを始めます。
- 適正規模で充実した教育環境をつくるため、**小中学校の適正配置**に取り組みます。
- 小中一貫教育や学校の公設民営化など***教育特区**の指定を目指します。

※教育特区

地域の自発性のもと、特性に応じた教育ができる特定の地域



人づくり

人々が生き生きと輝く 健康都市をつくります

- ジョギング、ウォーキングによる健康づくりのため、まちなかに**ヘルスロード**を整備します。
- **日本陸連公認コース**となった「陶芸の里ハーフマラソン大会」の充実を図ります。
- 合気道をはじめとする武道振興のため、**武道館**を整備します。
- 高齢者の健康づくりを支援するため、専門家による**スポーツ指導教室**に取り組みます。
- 高齢者が自立した日常生活を送り続けるため、**介護予防**に取り組みます。
- 相談窓口の設置や早期診断・早期対応の支援体制を構築するなど、**認知症の支援対策**に取り組みます。
- **市立病院を移転・新築**し、在宅医療・訪問看護・リハビリ機能を強化するとともに、**医療・保健・福祉を一体化した総合支援サービス**を始めます。
- 高齢者の様々なニーズに応じた、住居・レクリエーション・介護・看護・医療など**総合的なサービス**(*CCRC)を提供できる**施設の整備**を目指します。
- 認知症などにより判断能力が低下した方を支えるため、**成年後見制度の推進**に取り組みます。

※ (Continuing Care Retirement Community)

健康な間に入居し、人生最後の時まで継続してケアを提供する、高齢者コミュニティー

市民の自主的な活動を 支援します

- 安心安全なまちづくりのため、地域防犯活動の拠点となる**民間交番**を拡充します。
- 東日本大震災の教訓を生かし、災害に強い地域づくりのため、**自主防災組織の設立**を支援します。
- 協働のまちづくりを構築するためボランティア活動を支援する**地域ポイント制度**の充実を図ります。
- シニア世代の豊かな知識や経験を地域社会に活かせる、セカンドライフの活動を支援します。
- 道路里親制度や***グリーンパートナー制度**の充実を図ります。

※グリーンパートナー制度

公園の美化、維持管理等を地域の団体と共に行う活動



民間交番「あさひ」

活力と魅力ある、 コンパクトな街づくり

街づくり

■ **駅周辺中心街の改造**に取り組み、駅前の活気を蘇らせます。

友部駅：地域交流センターの整備・市立病院の移転 等
岩間駅：地域交流センターの整備・駅前(西口)の歩道整備 等
稲田駅：観光交流センター(石の百年館)の整備
駅前の歩道整備 等

■ 駅周辺や門前通り活性化のため「空き店舗」「空き家」「空き地」バンクを活用した再生を図ります。

■ 門前通りの道路整備を促進するとともに、歴史的建築物である**旧井筒屋周辺の再生**に取り組みます。

■ 東日本大震災の教訓を活かし、自然災害・原子力災害への対策強化に取り組み、「**災害に強い街**」を構築します。



交流センター(イメージ)



福島第二原発視察

便利で質の高い 生活環境を整備します

- 地域の安心安全のため**生活道路の整備**を推進するとともに、道路の維持管理については**民間による包括管理制度**を導入するなどの充実を図ります。
- 超高齢化社会へ対応するため、**デマンドタクシー**の充実を図るとともに、市内循環バスなど**新たな交通システム**を検討します。
- 商店不在地域での買い物支援を図るため、**移動販売事業**を支援します。
- 地域の活力低下や過疎化を防ぐため、**学校跡地の利活用**を図ります。
- 良好な環境を保全し、次世代に継承するため、**地球温暖化防止**などの環境施策を推進します。
- エコフロンティア笠間**の地元対策に引き続き取り組みます。



鯉淵公園



岩間体験学習館「分校」
(岩間第一分校跡地)



生活道路



デマンドタクシー



地域の産業振興を 推進します

モノづくり

- 旧畜産試験場跡地について長年の懸案事項であった排水整備を進めながら、笠間市の発展に繋がる利活用を図ると共に、市民が利用できる公園を整備します。
- ビジネスモデルの開発や生産プロセスの改善など、チャレンジする企業を応援します。
- 地域産業の振興と発展を目指し企業誘致活動を推進します。(茨城中央工業団地笠間地区への企業誘致・岩間IC周辺地区の基盤整備の促進)
- 地域の雇用の維持・拡大に寄与する地場産業(笠間焼・石材業)の振興を図ります。
- 笠間焼の産地力強化のため、県立窯業指導所の笠間陶芸大学校への拡大再編を支援します。
- 就業に繋がる建設技術習得のため、笠間地区建設高等職業訓練校の事業を支援します。
- 笠間焼の振興のため、全国から作品公募を行い「全国陶芸展」を開催します。



石切場

観光ツーリズム戦略を展開します

- 笠間観光の拠点として、**門前通り・旧井筒屋周辺**の**一体的な再整備**に取り組みます。(再掲)
- 貴重な地質遺産を教育、観光、産業などに活用できる、
* **ジオパーク構想**に取り組みます。(佐白山・稲田御影石)
- 山城として歴史的に貴重な**笠間城跡**を調査保存し、**重要文化財の指定**を目指します。
- 余暇意識の変化に対応した**観光レクリエーションの整備**に取り組みます。(愛宕山ハイキングコース・北山公園キャンプ場)

※ジオパーク構想

大地の成り立ちから、歴史・人々の暮らしまで含めた地域資源を再発見し、その魅力を発信する活動



北山公園



笠間のいなり寿司

攻めの農業への転換を促進します

- 力強い農業の確立、遊休農地の利活用を図るため、**農業公社**の設立に取り組みます。
- 新しい農業への転換を図るため、**専門農家を育成**するとともに、* **アグリビジネス**や* **6次産業化**を支援します。
- 農作物の**安定生産体制の強化**と、**効率的流通加工体制づくり**を進めます。
- 笠間市の主要農産物(栗や小菊など)の**ブランド化**を推進するとともに、**生産農家への支援**を強化します。
- 農業後継者や新規就農者を育成するため、**農業経営・技術の習得**を支援します。

※アグリビジネス

農業に関連する幅広い経済活動の総称

※6次産業化

食品加工・流通販売にも業務展開している経営形態



上郷地区の米





行政改革の 断行

行政サービスの 新しい形をつくります

- 笠間市と民間が情報ネットワークで連携した新たなサービス体制を構築するため、クラウドの活用を推進します。
- 効率的で便利なサービスを提供するため、上下水道業・道路管理事業の民間委託に取り組みます。
- 会計・給与などの専門定型業務について、周辺市町村との連携・共同化による民間委託に取り組みます。
- 未利用となっている市有地の売却・施設の取り壊しを進めます。
- 県央地域(9市町村)の連携による、広域行政の推進を図ります。

財源の確保に努めます

- トップセールスで企業誘致を進め、雇用の確保と税収アップを図ります。 ●企業誘致の状況 (H18~25) 25事業所 合計面積 約32ha
- 収納対策を充実させ、税の収納率アップを図ります。
- 市役所職員の削減を図ります。(4年間で30人の削減)
- 市長の給与カット(20%)を継続します。

行政改革の効果

●職員定数の削減 平成22年4月1日から4年間

40人削減 (目標40人削減)

▲**851,756,000円**

●第二次行財政改革による効果額

平成23年度

▲**226,117,000円**

平成24年度

▲**235,770,000円**

●補助金・負担金の見直し

補助金見直し

廃止**18**件・減額**23**件・統合**3**件・増額**1**件

負担金見直し

廃止**22**件・減額**36**件

●市長等給与の削減

市長給与 **20%削減**

▲**11,080,000円**

副市長・教育長給与 **5%削減**

▲**4,210,000円**

●行政評価による見直し

事務事業評価

H23年… 全**984**事業(改善72、休止・縮小4、廃止16、完了25)

H24年… 全**728**事業(改善135、休止2、廃止6、完了14)

外部委員評価

H22年… 全**16**事業(改善11、廃止1、現行4)

H23年… 全**16**事業(改善11、休止・縮小1、民間移管3、廃止1)

H24年… 全**15**事業(改善12、廃止3)



“即断即決”

これが山口伸樹の政治姿勢。そんな彼が掲げる 「復旧から成長、そしてさらなる躍進へ」 その先に描く、かさまの未来とは……

—平成2年に茨城県議会議員に初当選して以来15年県政に携わり、その後平成18年から笠間市長として市の舵取りをなさっておられるわけですが、どの様なきっかけで政治に取り組むようになったかお聞かせください。

私は二世政治家の一人です。小学生の頃から親が政治家でしたので、そうした家庭に育つ中で自然と政治に関心を持つようになりました。政治家になりたいという意識が芽生えてきたわけですから。これが一つの大きなきっかけといえるでしょう。

—笠間市の街づくりについて伺いますが、その前に2期8年の市政を振り返ってみていかがですか。

まず1期目は、合併という行政の大きな転換期でありました。合併によって、いろいろな制

度の統一が図られましたが、細部については、それぞれの自治体が抱える解釈の統一に苦慮したのも事実です。しかし『笠間はひとつ』という合言葉を基に皆で行動し、『ひとつ』の形作りができたのではないかと思います。

そして2期目ですが、2011年3月11日に発生した大震災は笠間市にも甚大な被害を及ぼしました。この未曾有の災害により2期目の施策は復旧が最優先になりました。大震災から間もなく3年を迎える今、どうにか復旧の見通しが立ちました。

—今後の課題についてのお考えは。

少子高齢化や人口減少は私が市長に就任した8年前、既にそうした状況は続いていましたが、やはりこの2～3年急激にこのような現象が顕著になってきました。少ない人数で多くの人を支えていかなければならない。それが、課題のひとつです。一方で、生活困窮者等の増加に伴い社会保障もどんどん広がっていくわけですから。今後いかに持続的かつ継続的な行政

山口伸樹

サービスを維持していくかが重要です。これは笠間だけではなく、全国的にも重要な課題ですね。人口減少に伴う税収減など多くの影響がこれからも出てくるのではないかと思います。

また、企業誘致は今も昔も地域活性化の大きな要素になるので、それはしっかりやっていきたいと思っていますし、やっていかなければなりません。

一将来を展望すると先細りが懸念されますが、打開策はありますか。

将来の展望を開くためにも、様々な悪影響を最小限に食い止め、必要な施策を果敢に実行に移さなければなりません。具体的には笠間市内のJR3駅周辺と観光面での稲荷神社周辺、合わせて4点それぞれの拠点を整備し、駅周辺の利便性を向上させ、街の活性化を目指していきたいですね。そのためには予算をポイントポイントに集中投下すれば、かなりの成果が期待できると考えています。また行政その

ものが身軽になることも必要です。例えば市有地の不動産、建物の処分、英知を絞って交流の場の創出や利便性の向上を図っていきたい。限られた予算でスピーディーに効果を上げ、先細り感をはね退けたいですね。

一まさに“即断即決”ですね。今後4年間の抱負を伺います。

市政においては、これまでに掲げている政策を4年間でしっかり達成したいと思います。駅周辺の拠点作りというものを、4年くらいの目安で掲げています。「元気なかさまづくり」を目指して施策を有言実行で取り組んでいきます。

一お忙しいところありがとうございました。

最後に、もし休みをとれるなら何がしたいですか？

1週間くらい、八丈島で趣味の釣りをしてリフレッシュしたいです。でも、なかなか休暇が取れませんね、現実的には夢でしょう。(笑)



行動派



街づくり 益子→笠間→秋葉原 開通



人づくり ハーフマラソン 完走



街づくり 出初め式



人づくり 全国高校アームレスリング大会



モノづくり ストーンフェスティバル橋本知事と



街づくり 道路整備 開通式にて



モノづくり 地場産物の育成、新栗まつりにて



行政改革 県央地域首長懇話会(9市町村で構成)



モノづくり ハイキングコースを自ら体験



人づくり 笠間市児童館オープン

